



Amappo



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第270号 2024年9月号

SINCE 2002.4.1.

発行日令和6年8月30日
 発行元有限会社佐野工務店
 〒237-0068
 横須賀市追浜本町1-25
 TEL 046(865)4010
 FAX 046(865)6139
<http://www.sano-k.net/>
 info@sano-k.net

♪My little hometown「商店街のにぎわい」



龍が握っている玉は、思いや願いが叶う神聖な玉（如意宝珠）と言われています。感謝の気持ちを忘れず自分なりのドラゴンボールを探しに行きましょう。

♪つかもうぜ! DRAGONBALL



令和3年3月に横須賀市がまとめた「追浜駅周辺地区グランドデザイン」により、にぎわい拠点形成ゾーンとして、沿道の低未利用地等や公共施設再編に伴い生まれる跡地等を活用して、市街地や商店街のにぎわい創出に貢献できるように検討していくという項目が記載されています。これは、商店街の活性化がメインになってくると思われます。

追浜銀座通り(夏島貝塚通り)の中ほどにある空き店舗に、いくつかの新しい飲食店が入りました。おしゃれなダイニングレストラン、肉・魚・野菜などをローストしたケバブをテイクアウトできるお店、淹れ立てのコーヒーを楽しめる落ち着いた雰囲気のカフェ、焼き立てのパンに行列ができるパン屋さんなど評判もとてもいいようです。だんだんと追浜駅周辺に活気が出てきたように思われます。

(参考資料「追浜駅周辺地区グランドデザイン」)

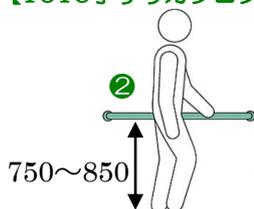
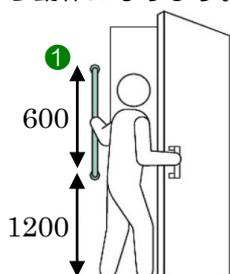


皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
 創業 1960.1.20. Next100
 創刊 2002.4.1.

介護保険制度の住宅改修工事は、住み慣れた住まいを暮らしやすい環境にして自立の手助けをすることを目的としています。本人の現在の心身の状況を考慮して家族の意見を聞きながら、ケアマネージャーや理学療法士などと連携してプランを立てることが大切です。手すり一つあるだけで安心して動作ができる場合があります。今回は手すりについて説明させていただきます。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

「寝室からトイレに行く」場合は、まずは寝室の建具を開けて、廊下を通り、トイレの建具を開けて便器に腰掛けて、その後立ち上がり、廊下を通り、寝室にもどるという動作になります。



① 出入口は体を支えられる縦手すり、② 廊下は移動用の横手すり、③ トイレは立ち上がりと座位を保持するL型手すりをそれぞれ図示した寸法で設置することをお勧めします。
 (単位はmm)

便座面から230~300

便器先端から200~300

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォーア、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。

このたびの「令和6年能登半島地震」で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と、一日も早い終息、復興をお祈り申し上げます。

ローカルニュース 地域情報

◆三溪園「観月会」

三溪園のシンボルの三重塔をはじめ、庭園の各所がライトアップされる中で歴史を物語る建物を舞台に「和の音」と「舞」そして「月」を愛でることが出来ます。

- 9月14日(土)
「雅楽」(横浜雅楽会)
18:00~20:00
- 9月15日(日)
「箏曲」(琴美会)
18:00~20:00
- 9月16日(月)
サクソとピアノで奏でる
「日本の唄~世界の唄」
(シャンティドラゴン)
18:10~18:40
18:50~19:20
19:30~20:00
- 9月17日(火)
「琉球琵琶」
(薩摩琵琶錦心流中谷派裏水会)
18:15~20:00
- 9月18日(水)
「篠笛」(佐藤和哉)
18:30~20:00



会場/臨春閣

入場料/

大人 900円

こども200円



横須賀ストーリーズ(自然災害と防災訓練「阪神淡路大震災」3) <16>

阪神淡路大震災は想像を絶する自然災害で、全国からの支援によって復旧活動が行われました。横須賀市からも多数の職員を派遣しました。そして、その派遣も長期に及ぶことになり、派遣職員の激励と現地の被害状況の調査などのために2月8日から10日まで神戸市を訪問しました。

(1) 給水活動

最初に視察したのは水道局の派遣チームでした。(以下、第269号に掲載)

(2) 医療活動

医療救済チームは、神戸市の要請で神戸市須磨保健所の一室を利用して、その対応に当たっていました。(以下、第269号に掲載)

(3) 火災対策

横須賀市の派遣チームが配置されたのは、火災被害が一番集中した地区でした。しかも建物の倒壊の被害も特に多い兵庫消防署管内でした。神戸市からの要請では工作車による人命救助でしたが、現地に到着すると消防ポンプ車による消火活動への期待を求められ、横須賀市では第一陣の工作車隊が出発後に後追いで消防隊が出発しました。こうしたことから後日の反省会で応援を受ける側と応援する側の連絡の重要性を議題として取り上げられました。後日、兵庫消防署長に、応援について心からの御礼が述べられ、地震当日の詳細な話を聞くことが出来ました。署長は近くの公舎で生活されていて、地震の瞬間は言葉では表せないような振動で飛び起きて着替え、外に大きな火の手が上がっているの、直ぐに消防署に駆けつけ市役所に連絡を入れると、市役所本庁舎の無線アンテナが倒壊して本部との連絡が取れず、独自の判断により対応することとなり全ての消防車を出勤させたが、火の勢いは衰えるどころか手が付けられないような状況でした。職員も徐々に出勤してきましたが、出勤途上で人命救助の現場に遭遇して応援を求められ、一段落するまで協力し登庁する等、マンパワーの不足もあって計画的に消火活動が出来なかったとの反省をお聞きすることができました。

派遣した消防職員からは今後の大きな課題として、第一点として全国波の消防無線が設置されない団体があり、十分な情報交換や連絡が取れなかったこと、第二点は消防水利が十分でなかったこと、第三点は神戸には大きな地震は起こらないとの住民意識で、万一の備えや訓練を実施されていなかったことなどが話されました。

(元横須賀市助役 井上吉隆)

よこすか文学館【105】



三浦半島に点在する文学碑や史的記念碑を実見し、作者やその作品の成立事情、碑の現状などについてご紹介します。

<西脇順三郎詩碑(観音崎公園)>

西脇順三郎(1894~1982)は昭和の詩人。新潟県小千谷市生まれ。1917

年、慶應大学理財科(現・経済学部)を卒業。1922~25年、慶應義塾留学生としてイギリスで学びます。イギリス留学中、英語詩集『Spectrum』をロンドンで自费出版しました。帰国後、慶大教授に就任。詩壇の新しい芸術運動の中心的人物として活躍していきます。彼の名を歴史的なものにした『Ambarvalia』(1933年)の他、多数の詩集や詩論集があります。碑の詩は『近代の寓話』(1952年)収載の「燈台へ行く道」の前半部です。観音崎燈台への道を歩きながら、『千夜一夜物語』のシンドバッド航海譚に出て来る怪獣「海の老人」やフランスの宗教史学者エルネスト・ルナン(1823-1892)のエピソードを連想するといった、自由な発想による詩です。

(洗足学園中学高等学校教諭 中島正二)

燈台へ行く道

まだ夏が終らない

燈台へ行く道

岩の上に椎の木の黒すんだ枝や

いろいろの人間や小鳥の国を考えたり

「海の老人」が人の肩車にのって

木の実の酒を飲んでいる話や

キリストの伝記を書いたルナンという学者が

少年の時みた「麻ただき」の話など

いろいろな人間がいったことを

考えながら歩いた

お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2024」A-9歩ZONE版(永久保存版)を(Blog「Oppamap2023」より)ダウンロードすることができますので、是非ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店

TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索